慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 受□書主要文献目録 (昭和三〇年三月分) |
| Sub Title | Books received |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾大学法学研究会 |
| Publication year | 1955 |
| Jtitle | 法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.28, No.5 (1955. 5) ,p.82- 87 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19550515-0082 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 受贈書主要文献目錄

（昭和三〇年三月分）

## はしがき

最近、當法學研究會（または法學部研究室）宛に寄贈される書籍および雜誌は、かなり多數に上り、われわれの研究に多大の便宜があたえられていることは、まことに感謝にたえないしだいである。そこで、今後本欄に、受贈書を明記して御寄贈下さつた各位に對し、感謝の意を表するとともに、受贈書の主なる內容をも掲載して、同學の便宜を圖ることとした。

## 凡例

一、掲載は、和書および中國書・洋書に大別し、それぞれ單行書・雜誌ごとに到着順による。但し、週刊・旬刊のごときものは、適宜にまとめておいた。

二、內容細目は、頁數の都合上、原則として單行書は目次の程度に、また雜誌は主要な論說・資料のみに限定する。

三、原則として法學、政治學、社會學に關係あるものに限り、全く關係のないものは割愛する。

**日本法令索引**
一九五四年版、追錄1
國立國會圖書館
調査立法考査局

**東京大學新聞研究所年次要覽**
一九五二年、一九五三年
東京大學新聞研究所

**第二十回國會制定法審議要錄**
衆議院法制局

**商經法論叢**（五卷四號）
神奈川大學商經法學會

**アジア經濟旬報**（二四四號—二四六號）
中國研究所

**公正取引**（五六號）
公正取引協會

**金融法務事情**（六二號—六四號）
金融財政事情研究會

**裁判所時報**（一七八號、一七九號）
最高裁判所事務總局



**法令全書**（昭和三〇年一月號）
大藏省印刷局

**法學新報**（六二卷二號）
中央大學法學會

時効取得と即時取得は果して原始取得か　岡村　玄治

企業擔保法案について（二）
—イギリス浮動擔保より觀て—　水島　廣雄

**山口經濟學雜誌**
（五卷七・八號、九・一〇號）
山口大學經濟學會

**勞働經濟判例速報**（六卷六號—九號）
日本經營者團體連盟

**日勞研資料**（八卷六號—八號）
日本勞働研究所

**勞政時報**（一三二〇號—一三二三號）
勞務行政研究所

**勞働法令通信**（八卷七號—一〇號）
勞働法令協會

**勞働法律旬報**（一九三號）　勞働法律旬報社

組合員除名紛爭の法的處理　藤田　若雄

同（一九四號）

ピケット・ラインの尊重

—アメリカの平和的ピケ論の前提について—　村上　昭夫

ピケットの判例概觀（下）　宮原　守男

ピケットをめぐる假處分裁判（中）

—千土地興業事件を機として—　東城　守一

判例にあらわれたロックアウト（二）　藤井　英男

同（一九五號）

改正公職選擧法の解說

—地方選擧の卷—　間宮重一郎

**統計月報**（六卷二號）　大阪證券取引所

**警察學論集**（八卷二號）　警察大學校

選擧犯罪の本質とその對策　三堀　博

おとり罪　笹内　純一

選擧取締についての一考察　白波瀬忠一

第二十三回國際刑事警察委員會總會について（一）　關根　廣文

ブライアン・チャブマン、佛蘭西地方行政序說（四・完）　松元　秀之

同（八卷三號）

警察教養について（座談會）　高橋　雄豺　桂　定治郎　湯淺　定晴　高橋　和市　早矢仕芳治　弘津　恭輔

**法學志林**（五二卷二號）　法政大學法學志林協會

民事訴訟の機能序說　池田　浩一

煽動罪についての刑法學的意味（二）　熊倉　武

**法經論集**（二卷二號）　新潟大學人文學部

ラスキの政治理論における視點形成の問題（四）　澁谷　武

國際連合による國際紛爭の平和的解決（一）　山口　五郎

**經營者**（九卷三號）　日本經營者團體連盟

**インヴェストメント**（八卷二號）　大阪證券取引所

アメリカ統一商法典

—投資證券編譯（二）—　八木　弘

**ジュリスト**（七六號）　有斐閣

「サービス・マーク」について

—改正商標法における重要問題—　荒玉　義人

改正株式會社法施行の實態調査（二）

—株式に關する問題—　西原　寛一　實方　正雄　谷口　知平　宮川　茂夫

日鋼室蘭爭議

—その經過と問題點—　佐伯　靜治

フランス國民議會の選擧システムと政黨　野村　敬造

同（七七號）

ビキニ事件の解決と殘された法律問題　大平　善梧

裁判を受ける權利・特別裁判所及び行政的最終性の問題　河原畯一郎

改正株式會社法施行の實態調査（三）

—經營組織に關する諸問題—　西原　寛一

同（七八號）　實方　正雄
改正された國會法　谷口　知平
—解說と問題點—　宮川　茂夫
「商法の一部を改正する法律案要綱假案」について　奥野　健一
警察官のはたす法的機能について　吉田　昻
—「法の解釋」に關連して—　廣中　俊雄
改正株式會社法施行の實態調査（四）
—株主及び株主總會に關する諸問題—　西原　寛一
實方　正雄
谷口　知平
宮川　茂夫
豫備株券の流出　三戸岡道夫

**最高裁判所判例集**（八卷一〇號、一一號）　最高裁判所事務總局

**經營と經濟**（三四年二册）　長崎大學産業經營研究所
佛蘭西に於ける婚姻の動向　塚原　仁
日本憲法に於ける「天皇」　西口　照男
傭船契約の任意告知に伴う空荷運賃制度　村田　治美
技術としての法
—ことに民法について—　増田福太郎

**學習院大學政經學部研究年報**（二號）　學習院大學政經學會
デモクラシーの理念　高木　八尺
カール・バルトにおける國家及び政治倫理の考察　飯坂　良明
承認問題をめぐる米國民のソ連觀　本橋　正
近代憲法における規範主義の危機　川北洋太郎
共同相續について（一）　遠藤　浩

**同志社法學**（二八號）　同志社法學會
違憲の條約の憲法論的考察　田畑　忍
自己株式の買入　島本　英夫
民法改正の主要問題
—家族法の再改正について—　加藤　正男
企業自體の理論と社會化（二）　服部　榮三
現實の世界政治　小松堅太郎

**警察研究**（二六卷二號）　良書普及會
惡法論議について（二・完）
—「法律の解釋は無限である」ということの意義—　牧野　英一
イギリス都市の警邏　土屋　正三

**自治研究**（三一卷二號）　良書普及會
公營企業體の合理化について　杉村章三郎
地方財政再建の前提　岡田　純夫
會計監査官制度（一）　小林與三次
地方團體における監査（二）　齋藤　喜良
ニュー・ヨーク市財政改革案（四）　荻田　保

**法學論叢**（六〇卷五號）　京都大學法學會
「ルソーと自然法學」序說　磯村　哲
法の支配　杉村　敏正
Academic Freedom　Rodney L. Mott

**早稲田法學**（二九卷四册）　早稲田大學法學會
共同正犯と從犯との區別　齋藤　金作
內閣の運營
—多數決と全會一致—　有倉　遼吉
最高裁判所の機構改革についての諸論點　中村　宗雄

同（三〇巻）

律令の民事訴訟法　瀧川政次郎
アメリカにおける單一訴訟方式　田中　和夫
裁判所に顯著な事實　小室　直人
爭議差止の假處分　吉川大二郎
訴訟上からみた對抗要件の意義　村松　俊夫
結果の排除を求める請求權　高根義三郎
國際民事訴訟法學の發展とその展望　中村　武
英米法における推定の原則の發展　楠本　英隆
刑事訴訟と應訴權　齋藤　金作
最高裁判所と憲法第八十一條の違憲的解釋　田畑　忍
司法權獨立の限界　野間　繁
行政法における訓示的規定　有倉　遼吉
詐害行爲取消權の本質　山中　康雄
婚約の法的把握と慣行および法意識　高梨　公之
老人の扶養をめぐる問題　高野竹三郎
離婚による財産分與の性格　佐々木　宏
商法の傾向と紛爭の非訟化現象　大野　實雄
代理資格の冒用と文書偽造　江家　義男
自由民權法學の由來　中村吉三郎
英法の孤立性について　水田　義雄
イギリス中世におけるヨーマンリーの代表　畑　穣

**機能**

**早稲田法學會誌**（五巻）　早稲田大學法學會

**家庭裁判月報**（六巻一二號）　最高裁判所事務總局
戰爭と家族　村田　宏雄

**民事月報**（一〇巻一號）　法務省民事局

**福岡商大平和臺論集**（一巻一號）　福岡商大平和臺研究所
フランス商法學界に於ける商法本質論に就て　古田　龍夫

同（二號）

**Development of English Law**　中村　與助

**都市問題**（四六巻三號）　東京市政調査會
戰後の選擧の回顧と問題點　杣　正夫
大都市における市民と選擧
—東京都の場合—　磯村　英一
大都市における選擧と市民
—名古屋市の場合—　横越　英一
青年の自覺と市町村自治　關口　泰
新市における選擧の問題點
—都市における農民の問題—　平井　次郎
地方選擧の政治的意義　星野　光男
公職選擧法の改正　兼子　秀夫
フランスの地方行政（三・完）　小倉　庫次

**都市問題研究**（七巻二號）　都市問題研究會
不良地區改良の方法について　中澤誠一郎
大都市における商業機能の構造　小林　博
近郊住宅地における商業施設の構成について　宮脇　泰一
衞星住宅都市芦屋の地域構造　稲見　悅治

同（三號）

地方議會と執行機關との關係　弓家　七郎
地方選擧制度に關する若干の問題　降矢　敬義
直接請求制度と地方自治　山本正太郎
地方住民の直接請求權　河中　二講
アメリカにおけるイニシアチイブ、レフェレンダム、リコールとその運用　小倉　庫次
地方財政膨張の原因としての常任委員會、地方教育委員會、國庫補助金　荻田　保

教育委員會制度　兵頭　泰三

**勞働研究**（八八號）兵庫縣勞働研究所

「勞働條件」論議　村上　久信

「前近代的」爭議の近代的意義
—近江絹糸爭議の日本勞働運動史上の意義—　川口　義明

**稅法學**（五〇號）　日本稅法學會

ドイツ租稅基本法の研究（一）
—租稅基本法制定のために—　中川　一郎

米國所得稅法における家族の課稅（八）　須貝　脩一

**法と政治**（五卷三・四號）
關西學院大學法政學會

最高裁判所の任務、機構並にその改革問題について　河村　又介

壓力團體の諸問題
—特にアメリカを中心として—　大石兵太郎

アメリカの戰略におけるニュールックとその政治的含意　武内　辰治

レオン・ペトラジッキイの法思想　飛石　謙一

二三の名古屋町内文書に就いて
—宮町々代役御用留・飯田町人別御改帳を中心とする都市法研究覺書—　前田　正治

ポツダム宣言の受諾と天皇制の維持　田村　德治

情實主義の時代
—英國公務員制度論の（一）—　足立　忠夫

フランス法における商事責任の連帶について
—フランス民法一二〇二條（連帶推定排除）をかえりみつつ—　西島彌太郎

同（六卷一號）

改革先驅者とその一般的條件
—英國公務員制度論の（二）—　足立　忠夫

改治の概念構成への一試論
—その對象論的考察—　村西　義一

就業規則の法理　安屋　和人

**法政論集**（三卷一號）
名古屋大學法學部

不動產登記と公信力　幾代　通

いわゆる「故意ある道具」について（一）　大塚　仁

**大分大學經濟論集**（六卷四號）
大分大學經濟研究所

統制期の日本海法　志津田氏治

**神戸商船大學紀要文科論集**（三號）
神戸商船大學

禁反言法則の適用についての若干の問題　西島彌太郎

日本國憲法における民主々義　別所　成紀

**國家學會雜誌**（六八卷五・六號）
國家學會

日清戰爭と當時に於ける對外意識（二・完）　岡　義武

道德哲學としての近世自然法（三）　福田　歡一

ドイツ革命におけるエリートと大衆（二）　篠原　一

**世界月報**（一〇卷一號）
外務省情報文化局

**世界の動き**（三八號、特集號九號）
外務省情報文化局

**松商論叢**（二號）　松商學園短期大學
法家・韓非子の法思想（二）　成宮　嘉造

**社會體制**（五卷四號）社會體制研究所
國法の形而上學的基礎
—プラトンのノモイを中心として—
位地　正
社會紐帶に關する一考察　堀井　岸雄

**中小企業協同組合**（一〇卷三號）
日本中小企業團體連盟

**經濟導報**（四〇七號—四一〇號）
經濟導報社

**中國經濟**（五二號、五三號）
中國經濟月刊社

**學習**（八〇號、八一號）　學習雜誌社

**學習譯叢**（四二號、四三號）
學習雜誌社

**自由中國**（一二卷五號）
自由中國社

**People's China** (No. 4, 1955)
Foreign Languages Press

**Harvard Law School Record**
(Vol. 20, No. 1—4)

**Harvard Law Review**
(Vol. 68, No. 4)
The Right to a Hearing in English Administrative Law
S. A. de Smith
Proprietorship over Deponents
Robert E. Keeton
Workmen's Compensation for Maritime Employees: Obscurity in the Twilight Zone
Robert E. Rodes